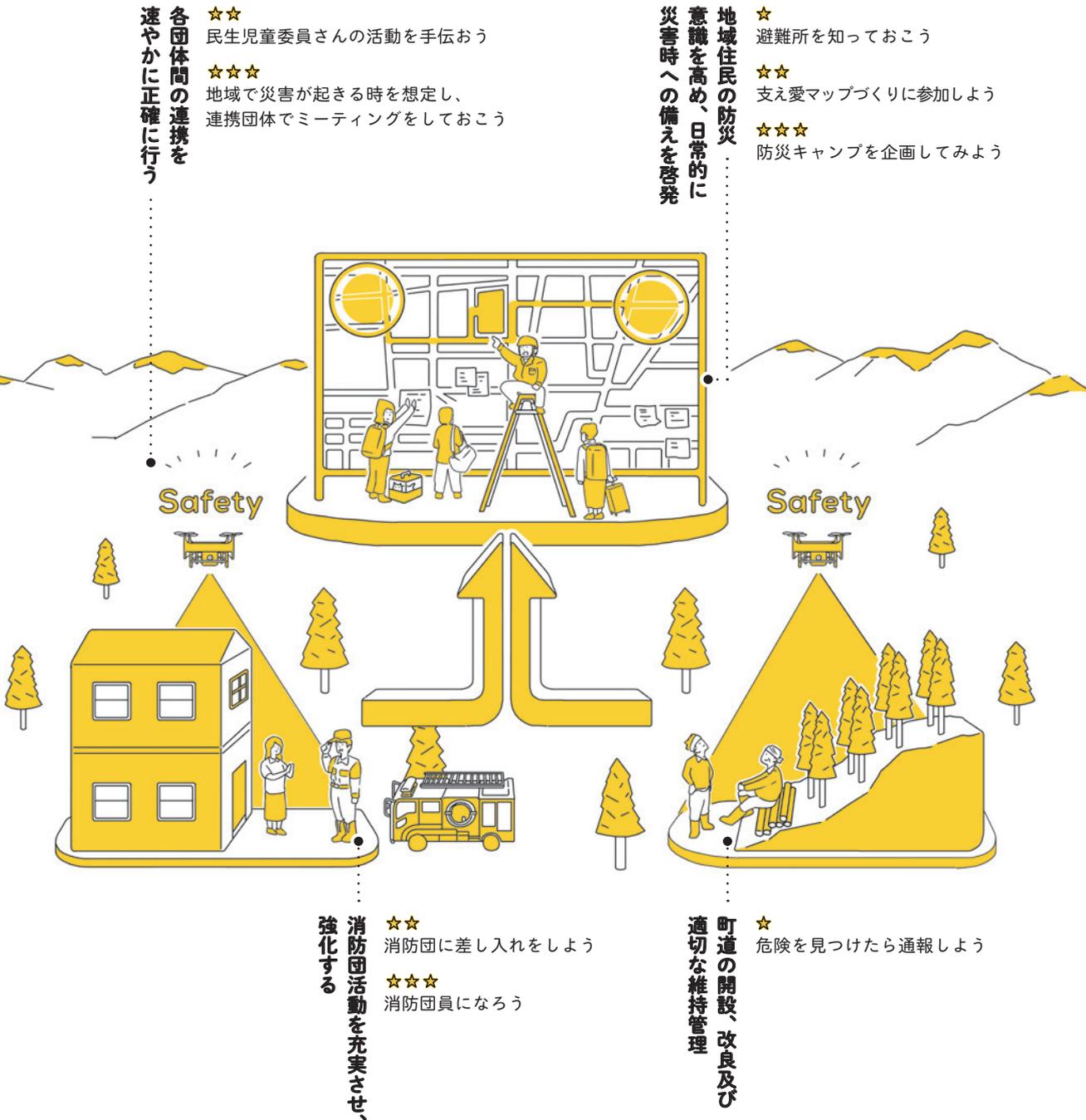


5 防災

防災情報の迅速な伝達方法



近年、自然災害が全国で発生し、その規模もこれまでの想定以上です。災害や火事が起これば、一番に地元消防団が駆けつけます。鳥取県内でも随一の加入率を誇る智頭町消防団は地域の安全・安心を支える中心です。また、支え合いマップ作成率も県内で最も高いため、逃げる場所、サポートする人など自治会、民生委員、消防団、住民が共通した情報をもってれば、災害が発生してもスムーズに連携できるはずです。

2025年には、災害だけでなく、普段からそれぞれの役割を理解し、寄り添い、つながる地域となっています。

KPI
2024年までの目標数値



支え愛マップ(災害
図上訓練DIG)作成率 **75集落** (85%)

消防
団員数 **400人** (人口比 6.5%)

自主防災
組織数 **75組織**